

ホームルーム活動（人権）学習指導案

1 主 題 人生のパートナーについて考える

2 主題設定の理由（省略）

3 ね ら い

- (1) 結婚というテーマを通して、自身に潜在している偏見や差別意識はないか確かめさせる
- (2) 結婚差別の実態と不合理性を認識し、結婚に際しての差別意識はどこからきているかを考えさせ、差別解消をめざす意欲と行動力を養う。

4 指 導 計 画

(1) これまでの学習

- 第1回 人権講演会「いのちの授業」・・・2時間
- 第2回 「就職差別につながるとされる14項目について」・・・1時間
- 第3回 人生のパートナーについて考える①・・・1時間

(2) 本時の学習

- 第4回 人生のパートナーについて考える②・・・1時間

(3) これからの学習

- 第5回 人権集会・・・2時間
- 第6回 学年講演会「デートDVセミナー」・・・2時間

5 本 時 の 学 習

(1) 目 標

- ① 結婚差別の事例について考えることによって、差別の不合理さを認識し、その解消に向けて積極的に取り組む態度と実践力を養う。
- ② 結婚は「個人の自由」であり「両性の合意のみに基づく」ものであるということを再確認させ、支えあう人間関係や一人一人が正しい知識をもって行動に移していくことの大切さに気付かせる。

(2) 普遍的な学習のテーマ・・・法の下での平等 個人の尊厳
 個別人権課題名・・・・・・・・同和問題

(3) 展 開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評 価
導 入 (10)	○本時の学習内容について知る。 ○事前に行った保護者のアンケートの結果を見て、保護者の考えを知る。	○本時の学習内容の趣旨を理解させる。 ○親世代の考えを知り、結婚差別は身近にも起こる可能性があることに気付かせる。	○主題設定の理由を十分理解し、関心をもっている。 (知識的側面) (価値的・態度的側面)
展	○「結婚差別」事例のロールプレイの仕方についての説	○進め方について戸惑うことのないように丁寧に説明す	○積極的に参加しようとしている。

<p>開 (35)</p>	<p>明を聞く。 ○各班ごとにロールプレイを行うための役割を決める。</p> <p>○「結婚差別」事例の台本をもとに各班でロールプレイを行う。</p> <p>○台本に書かれていない部分について話した内容を班ごとに発表する。</p> <p>○この事例の中での問題点は何か班で考える。</p> <p>○2人が納得のいく結婚をするためにはどうすればよいかもう一度班で考える。</p> <p>○同和問題を乗り越えて結婚しようとした事例についての資料を読む。</p>	<p>る。</p> <p>○できるだけ男女が役と一致するようにする。</p> <p>○自分の役になりきり、その人はどういう考えなのかを実感させ、台本にない部分は即興で話し合わせる。</p> <p>○納得のいく会話にならなかった班には十分話し合った結果、結論が出なくてもよいことを伝える。</p> <p>○差別意識はどこにあるのかに気付かせる。</p> <p>○差別を解消するためには正しい知識が必要だと理解させる。</p> <p>○正しい人権教育を受けることによって結婚差別が解消されつつあることを知り、今後につなげる。</p>	<p>(価値的・態度的側面)</p> <p>○自分の問題として捉えている。</p> <p>(価値的・態度的側面)</p> <p>○2人が結婚するためにはどう説得するべきか考え、話せる。</p> <p>(技能的側面)</p> <p>○他者の意見を尊重して聞いている。</p> <p>(技能的側面)</p> <p>○自分の意見を発言している。</p> <p>(技能的側面)</p> <p>○人権問題に対しての正しい知識をもつことができる。</p> <p>(知識的側面)</p> <p>○人として最も大切なことは何かを考えることができる。</p> <p>(価値的・態度的側面)</p>
<p>ま と め (5)</p>	<p>○本時のまとめを聞く。</p>	<p>○人権問題に立ち向かっていくためには、支え合う人間関係や一人一人が正しい知識をもって行動にしていくことが大切だということに気付かせる。</p>	<p>○正しい人権感覚をもち、人権問題は自分たちが解決していく問題だと考えることができる。(価値的・態度的側面)</p>